

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDG s のゴール・ターゲットのマッピング																			
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17			
人権・労働	1 【差別の禁止】 ・性別、年齢、人種、出身などによる差別がないことを確認している		○	○	基本	・全社員が遵守すべき原理原則であるFUJITSU Wayの行動規範に「人権を尊重します」を明記し、重要項目として周知							5.1 5.2 5.5												16.1 16.2 16.7	
	2 【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制が整備されている		○	○	基本	・就業規則に人権侵害行為の禁止及び助長し許容の禁止を明記 ・職場ハラスメント防止規定の設定 ・幹部社員人権研修及び全従業員人権研修の実施（毎年） ・人権相談窓口の設置 ・人権相談窓口の案内カードを全従業員に配布・周知し、相談しやすい環境を構築 ・人権に関するアンケートにより、各種対応の実施（毎年）							5.1 5.2 5.5											16.1		
	3 【労働時間】 ・過度な長時間労働が行われていない			○	基本	・PCログによる、残業時間の管理 ・フレックスタイム制度の導入 ・長時間労働に関する警告メールの配信 ・労使による時間外協議会（毎月）																			8.5 8.8	
	4 【外国人労働者】 ・外国人労働者の差別、人権侵害がないことを確認している		○	○	基本	・民族や人種に関わりなく活躍できる企業風土づくりの推進 ・規則・規定・出張などの人事手続き、ビザの取得方法、衣食住などを開設できるイントラネットの整備及び英語での相談受け付けを設置							4.4												8.7 8.8	
	5 【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境が整備されている		○	○	基本	・安全衛生方針に基づいて、目標を定め、具体的な活動計画を実施 ・安全衛生委員会を開催（毎月） ・定期的なリスクアセスメントの実施 ・法律に基づいた安全衛生点検の実施																				3 8
	6 【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良い環境で維持できるように施策を実施している		○		基本	・メンタルヘルス相談室の設置（相談窓口や、メンタルヘルスにおける各種教育などが存在） ・カウンセラーによるカウンセリングの実施（毎月） ・定期的なストレスチェックの実施																				3
	7 【ダイバーシティ経営の促進】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）を活かし、十分に活躍できる環境が整備されている		○	○	基本	・「くるみん認定」（厚生労働省）の取得 ・「えるぼし認定」3段階目 ・小山市ワークライフバランス推進認定事業所 ・アビリンピック（全国障害者技能競技大会）への参加支援								5.1 5.5												8.5 10.2 10.3
	8 【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等の組織の活性化に取り組んでいる		○	○	応用	・「食」について、正しい知識とバランスの良い食事を選択する力を身に付け、健全な食生活を実践できる力を育てる「食育」の取り組みを年間を通じて実施 ・禁煙治療の支援 ・全社ウォーキングイベント「みんなで歩活」を実施（毎年）																				3 8
	9 【人材育成】 ・労働者に適切な能力開発、教育訓練の機会を提供している		○	○	応用	・eラーニングにより、オンラインで受講可能な教育を全社員に実施 ・外部学習サイトと連携した教育プラットフォームを開設し、全社員へ学びの場を提供 ・製造ライン従事者向けの集合教育や外部教育の受講を定期的に行っている																				4 8 9
	10 【雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿った対応を行っている		○	○	応用																					8.5 10.2 10.3
環境	11 【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、また削減に努めている	○		○	基本	・廃棄物処理委託業者に対する、定期的な現地監査の実施 ・分別ルールを強化し、廃棄物を削減（有価物比率は毎年75%以上）																				11.6 12.3 12.4 12.5
	12 【エネルギー】 ・自社のエネルギー使用量を把握し、エネルギー利用の効率化を進めている	○			基本	・自社のエネルギー使用量をホームページにて公開（毎年、第三者審査による保証あり） ・小山市エコ・リサイクル推進認定事業所																				7.3 13
	13 【温室効果ガス】 ・自社の温室効果ガス排出量を把握し、削減を進めている	○		○	基本	・自社の温室効果ガス使用量をホームページにて公開（毎年、第三者審査による保証あり）																				7.2 7.3 12.4 13.3

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリー	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3 側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDGs のゴール・ターゲットのマッピング																							
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17							
14	<b>【有害化学物質】</b> ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の削減及び適切な使用に努めている	○	○	○	基本	・化学物質管理システムを活用し、各事業所・各部門ごとの化学物質を登録・管理 ・年度ごとの環境行動計画において、化学物質排出量の継続目標を設定し、結果とともにホームページにて公開 ・化学物質取扱部門を対象に、管理状態の現地確認を実施（2回/年）				3.9				6.3							11.6	12.4								
15	<b>【生物多様性】</b> ・自社活動が生物多様性或生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	○			基本	・生物多様性行動指針の策定 ・自社に設置する自動販売機よりペットボトル飲料の撤廃（海洋プラスチックごみ問題対応） ・売店よりレジ袋の撤廃（海洋プラスチックごみ問題対応）								6.6												15				
16	<b>【水の管理】</b> ・自社の水の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に努めている	○			応用	・水使用量をホームページにて公開（毎年） ・一部の建屋で雨水を溜め、トイレの流水に利用								6.4																
17	<b>【環境マネジメントシステム】</b> ・ISO14001または同等の環境マネジメント規格を取得している	○	○	○	応用	・ISO14001のグローバル統合認証を取得				3.9				6	7							12	13.3	14	15					
18	<b>【環境情報開示】</b> ・自社の環境の取り組みに関する情報を収集し、開示している			○	応用	・環境への取り組みをホームページにて公開																12.6								
19	<b>【再生可能エネルギーの利用】</b> ・再生可能エネルギーの利用を進めている	○			応用	・再生エネルギーの普及拡大を目指す国際イニシアチブ「RE100」に加盟									7.2										13					
20	<b>【天然資源の持続的利用】</b> ・天然資源の持続的利用に配慮した調達を行っている	○		○	応用																		12.2	13	14	15				
21	<b>【3Rの推進】</b> ・リデュース、リユース、リサイクルの推進を行っている	○		○	応用	・社外リユース事業者と連携し、調達部品納入時に使用される「部品トレイ」一部をリユース化 ・食堂から出る調理くず・残飯を堆肥化させ、有機肥料として従業員や地域住民へ無償提供し一般廃棄物を削減（肥料は農業環境指導センターに登録済み）								6.3								11.6	12	12.5	13	14	15			
22	<b>【汚職・贈収賄防止】</b> ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・汚職・贈収賄の禁止をテーマとしたeラーニングを全社員に実施																						16	16.5	
23	<b>【公正な競争】</b> ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に教育している		○		基本	・全社員が遵守すべき原理原則であるFUJITSU Wayの行動規範に、公正な商取引を行うことを明記																							16	
24	<b>【知的財産保護】</b> ・知的財産を保護するよう、適切な取り組みを進めている			○	基本	・全社員が遵守すべき原理原則であるFUJITSU Wayの行動規範に、知的財産を守り、尊重することを明記											8.2	8.3	9											
25	<b>【個人情報保護】</b> ・個人情報を適切に管理している		○		基本	・個人情報保護を目的とした、プライバシーマークの認定（一般財団法人日本情報経済社会推進協会）																							16	
26	<b>【紛争鉱物】</b> ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している		○		応用																								16	
27	<b>【サプライチェーン管理】</b> ・サプライヤー、事業パートナー等に対し、人権侵害（低賃金労働、児童労働、劣悪な労働環境等）の防止、生物多様性或生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）のための取組を要請している	○	○	○	応用								5						8			10	12	13	14	15	16	17		

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDG s のゴール・ターゲットのマッピング																				
		環境	社会	経済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
28 製品・サービス	【製品・サービスの安全性】 ・自社の製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している		○	○	基本	・安全性に関する表示について、関連法令・規制・制度や社内規定遵守の徹底 ・製品安全に関する問題が発生した場合の、速やかなホームページへの記載 (「製品安全に関する重要なお知らせ」)			3.9									12.4									
	【品質保証】 ・顧客に品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを確立している			○	基本	・「富士通グローバル品質方針」の策定 ・品質保証活動や組織の枠を超えたノウハウ・情報を共有することを目的とした、「クオリティアシュアランス」本部の設置											9										
30 製品・サービス	【環境配慮製品】 ・ライフサイクルで環境に配慮した製品の開発・設計を進めている	○		○	応用							6						12	13	14	15						
	【社会課題解決製品・サービス】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開を進めている	○	○	○	応用		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17				
32 社会貢献・地域貢献	【地域への影響への配慮】 ・自社事業が地域に及ぼす影響に配慮し、適切に取り組んでいる	○	○	○	基本	・地域との交流などを通して、地域へ及ぼす影響を周知				4								9		11	12		14	15	17		
	【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティア等を含む、社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	○	○	○	応用	・地域におけるボランティア活動に参加 ・富士通おやまふれあいフェスタで、健康増進イベントの開催 (従業員・従業員家族・地域住民対象) ・災害時における避難場所として、体育館を小山市へ提供				4										11			14	15	17		
	【地域資源の積極的利用】 ・地域資源の積極的利用（地産地消、地産外商）を行っている	○		○	応用										8	9		11	12	13							
35 36 37 38 39 40 41 組織体制	【法令遵守】 ・法令遵守の考え方が社内十分に浸透している		○		基本	・全社員が遵守すべき原理原則であるFUJITSU Wayの行動規範に、法令の遵守を明記																			16		
	【内部管理体制】 ・経営理念（及びSDGsとの関係）・経営目標の社内への共有が行われている			○	基本	・経営理念周知のため、全社員を対象に説明会を実施										8	9									17	
	【法令遵守】 ・法令遵守が確実に行われるよう、体制・仕組みが整備されている		○		応用	・法令順守をテーマとしたeラーニングを、全社員に実施																			16		
	【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に関連する事項に対応する担当、専門部署など体制が整備されている		○		応用																					16	
	【リスクマネジメント】 ・法令遵守、環境安全衛生、労働環境などに関するリスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスが整備されている		○		応用	・リスク・コンプライアンス委員会を設置し、リスクマネジメントを推進 ・社員向けにリスクマネジメントの教育を実施																				16	
	【企業の社会的責任】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対し、責任を持って対応するCSR（Corporate Social Responsibility）の取組を進めている		○		応用	・グローバルなCSRアライアンス「Responsible Business Alliance(RBA)」に加盟																				16	
41 【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダーと対話し、自社活動のステークホルダーへの影響を把握し、適切に対応している		○	○	応用																				16	17		

とちぎSDG s 推進企業登録制度 SDGs達成に向けた具体的な取組のチェックリスト

様式3号

カテゴリ	SDGsの観点で市場・社会から期待される基本的な事項	3側面該当			期待 レベル	具体的な取組 (県などの認証制度の取得事例があれば、併せて記入ください。)	SDG s のゴール・ターゲットのマッピング																																
		環 境	社 会	経 済			1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																
42	【事業継続】 ・事故や災害などの発生に伴う事業中断を想定した戦略を立案している	○	○	○	応用	・事業継続計画の継続的な見直し及び事業継続マネジメントの推進															9		11						13									16	
43	【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている			○	応用																	8																	17

上記以外で設定した取組項目

	独自に設定したSDGsに資する取組				具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17																	
1																																							
2																																							
3																																							
4																																							

**【記載留意事項】**

- ・SDG sのゴール・ターゲットのマッピングについては、各項目について、ゴールやターゲットに直接的に当てはまる場合は**黒字**、間接的（結果として）に寄与する場合は**赤字**で番号を記載しています。（SDG sのゴール・ターゲットのマッピングの整数はSDG sのゴール（例：7）を表し、小数点を含む数字はターゲット（例：7.3）を表しています。）
- ・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。

なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものであっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

- ・「非該当」のものについては、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）該当しない場合にその理由を「具体的な取組」欄に記載してください。
- ・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。（※えるぼし認定、森林認証制度 など）